

令和元年度 学校評価について

山口小学校

4:よくできた 3:できた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

	評価の観点	回答者数(%)表示				今後の改善について	自己評価の妥当性(学校関係者評価の意見等)
		4	3	2	1		
学校運営	開かれた学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信	79%	21%			<p>学校評価の数値や改善策等については特に意見はなく、妥当であるという認識を得た。</p> <p>・保護者アンケートから学校の取組に対する肯定的な意見や感謝の意見が多く寄せられている。今後も成果と課題に対応した取組を進めていくべきである。保護者アンケートの中で「あいさつ」への課題があげられるが、学校だけでなく家庭や地域での指導や声かけがなくては良くならないのではないかと。</p> <p>・ツリークライミングや岩津ねぎの取組は保護者や子どもたちの評価は高い。ツリークライミングについては木の状態をみながらできる限り続けていけばよい。岩津ネギについては、種の段階から栽培するなどより深い学びを求めるなどの検討も必要ではないか。(検討の価値はあるが、時間が限られた中で、他の活動もあり熟考の必要がある。)</p> <p>・様々な家庭環境があり、それぞれの子どもたちに心をかけて取り組んでいかなければならない。</p> <p>・危機管理については小学校の体育館が避難場所となっている。各公民館等も老朽化しており、今後は体育館や学校がより重要な拠点となると考えられる。課題の把握と市当局への要望や、市からの提言も必要である。</p> <p>・教科学習だけでなく、友だち関係のあり方や集団生活のあり方、時にはトラブルが生じたときの解決の仕方等、全てが大切な学びととらえ、児童会活動や学校行事を生かしていく。</p>
		オープンスクール(学校公開)など住民参加の教育活動の推進					
	生徒指導	豊かな集団生活が営まれる学級づくり					
		児童生徒の内面理解を図る指導の工夫	14%	72%	14%		
		いじめ、不登校、問題行動、ネットトラブル等への適切な対応					
	進路指導(中)	進路選択能力の育成					
危機管理体制の整備	マニュアルの点検・見直し	14%	86%				
	地域課題に応じた防災、防犯教育の実施						
教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	指導内容の工夫改善	31%	69%			
	基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の充実	指導内容・指導方法の工夫改善、評価方法の創意工夫	23%	77%			
	道徳教育	授業研究の充実と指導の工夫	29%	64%	7%		
	外国語教育(小)	授業研究の充実と指導の工夫	69%	31%			
	総合的な学習の時間	全体計画に基づく工夫改善	31%	69%			
課題教育	人権教育	人権尊重の精神の育成	50%	50%			
	体験活動の充実	自然学校、トライやる・ウィーク等を含めた体験活動の充実	64%	36%			
	キャリア教育	社会的自立に必要な態度や能力の育成	36%	57%	7%		
特別支援教育	校内の指導体制、個に応じた指導	36%	64%				
あさごドリムアップ事業	特色ある学校づくり	8%	92%				
その他	・コミュニケーション能力の向上	69%	31%				